



Point of Study

3つの経済主体間の経済循環はどのようなものか。また、市場の効率性と、その限界はどのような点にあるのだろうか。

- ①家庭に代表される、生計を営む最小の経済主体（単身者も含まれる）。
- ②財・サービスが取引される市場を財（商品）市場、労働力が取引される市場を労働市場、資金の貸し借りなどがおこなわれる市場を金融市場（→p.88）という。

2 経済主体と市場の働き

経済主体と経済循環

わたしたちの毎日の生活は、おもに家計^①を中心に営まれている。家計は、企業などに労働

力を提供して賃金・給与を得るか、あるいは事業を営むなどして、所得を得る。そしてその所得から消費や貯蓄をおこなう。

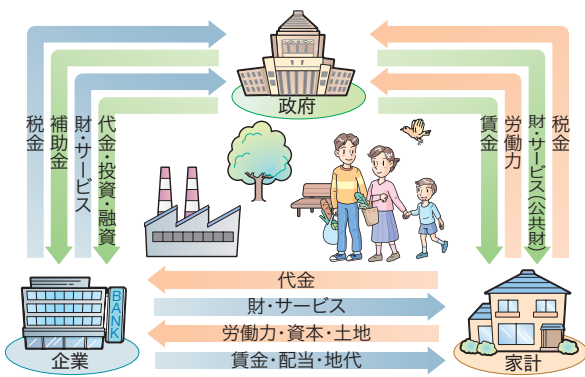
企業は、家計から提供された労働力をもとに、財やサービスを生産し、その販売を通じて利益（利潤）を得ようとする。

政府は、家計や企業がおさめる税金をおもな財源にして、民間企業が提供できない財やサービス（公共財）を供給し、経済の安定や成長をはかる政策をおこなう。現代の経済は、この3つの経済主体の相互のやりとりのうえに、なりたっている。

市場の働き

財やサービスは、それぞれ一定の価格（値段）のもとで取引される。その価格と取引量を決めるのが、市場^②の役割である。

市場では、次のようにして価格が決まる。すなわち、価格が高くなると、消費者の需要量（買いたいと思う量）は減るが、企業の供給量（売りたいと思う量）は増える。その結果、商品に余りが出ると、企業は価格をひき下げる。価格が低くなると、消費者の需要量は増えるが、企業の供給量は減る。その結果、商

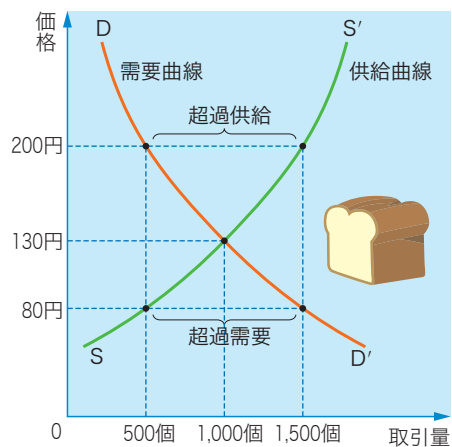


① 経済活動の流れ

Close-up クローズアップ

需要・供給と価格の関係

パンを例に、その価格を縦軸に、取引量を横軸にはかるものとする。消費者は、パンの価格が高いときはそれほど多くを買おうとせず、価格が低くなるとたくさん買おうとする。そのため、需要量は右下がりの曲線D'D'で示される。一方、生産者は、価格が低いときは多くの利益を期待できないため、それほど多くをつくらせず、価格が高くなるに従い、生産量を増やそうとする。そのため、供給量は右上がりの曲線S'S'で示される。もし価格が200円なら、生産者は1,500個供給しようとするが、消費者は500個しか買おうとしないため、1,000個の余り（超過供給）が生じ、生産者は価格を下げて販売するだろう。反対に価格が80円だと1,000個の不足（超過需要）が生じ、価格は上がるだろう。この結果、価格は2つの曲線の交点である130円（均衡価格）に、取引量は1,000個に落ちつく傾向がある。



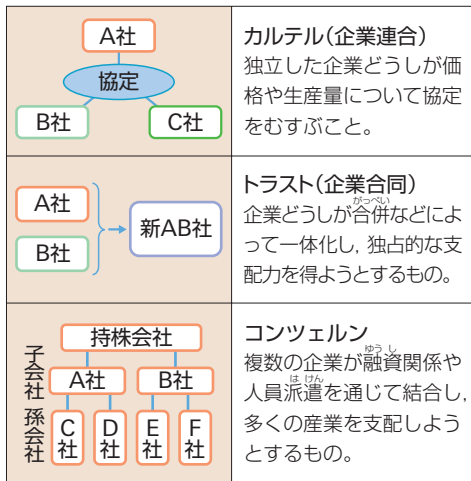
公正取引委員会

KEY WORD

1948年に設置された行政委員会
 会で、他の行政機構の指揮・監督を受けず、独立して職務をおこなう。独占禁止法に違反する行為の差し止め、不公正な取引方法の指定、カルテルの破棄勧告など、準司法的権限をもつ。

品がたらなくなり、企業は価格のひき上げをはかる。このように価格が変動することで、やがて需要と供給が一致する価格がみいだされる。この価格を**均衡価格**という。市場は、だれの命令によることなく、商品の価格を均衡価格へ導く性質をもっている。この性質のことを、**市場メカニズム**(市場の自動調整作用)という。

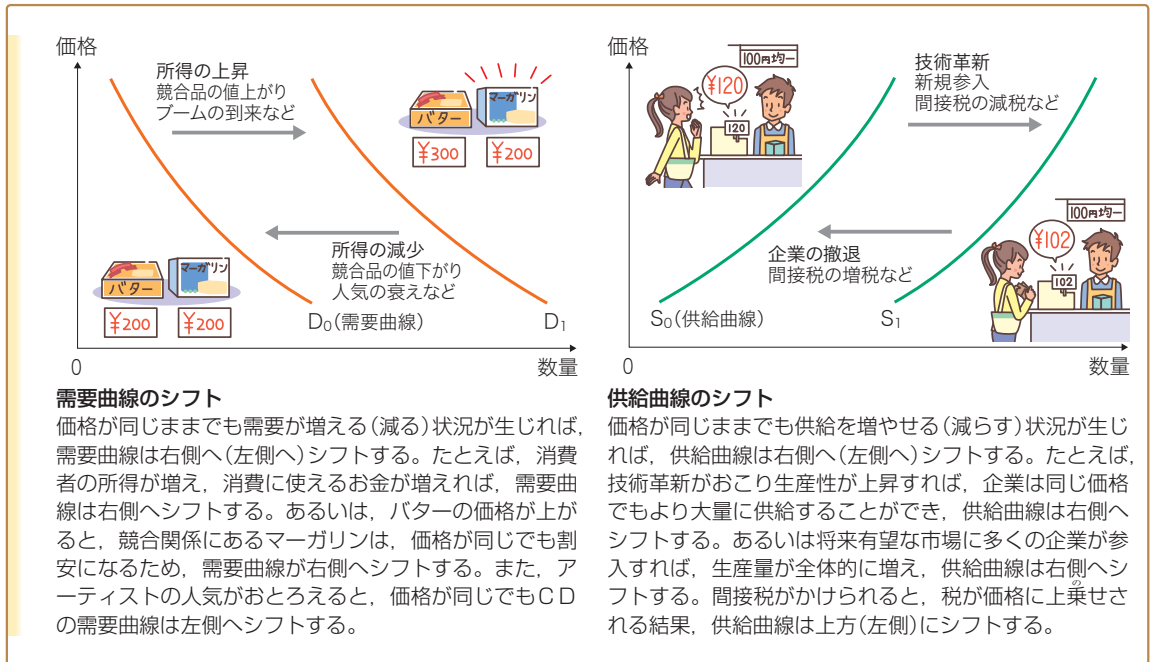
市場と競争 均衡価格のもとでは、財やサービスを、余りも不足も出さずに利用することができる。このため、市場には効率性があるといわれる。しかし、市場の効率性は、企業がたがいに競争していなければ**発揮**されない。商品に売れ残りが出ている、企業どうして価格が下がらないような取り決め



などをしていたら、市場メカニズムは発揮されない。こうした行為は、**価格カルテル**といわれ、競争を排除する行為として**独占禁止法**(私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律)によって禁止され、**公正取引委員会**がその監視に当たっている。

③たとえば超過供給では需要を上まわる商品がつけられ、希少な労働力や資源の無駄づかいにつながる。需要量と供給量が均衡していれば、人々が必要とするだけの商品が生産される。市場にはこのように効率性を高める性質がある。

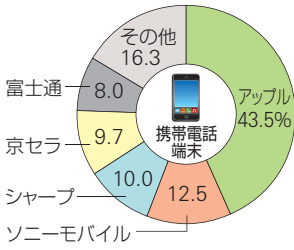
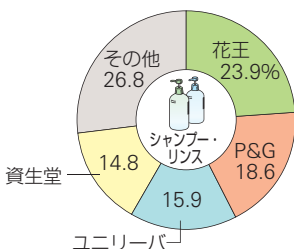
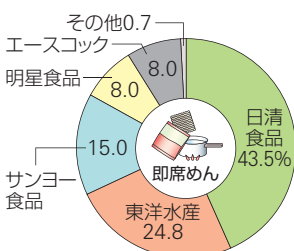
②企業の結合



*1 寡占・独占

市場に企業が数社存在する場合を寡占、1社しか存在しない場合を独占という。

①その結果、価格が固定的になる場合を管理価格という。管理価格では一定の利潤を確保するため、需給関係にかかわらず、価格が下がりにくくなる傾向(価格の下方硬直性)が生じる場合がある。



わが国の生産集中度

2017年。日経産業新聞による。

*2 外部不経済・外部経済

市場の外部で生じる経済問題を外部性問題という。環境破壊など、不利益が発生する場合を負の外部性(外部不経済)といい、ミツバチの飼育が近隣果樹園での受粉を助けるように、利益が発生する場合を正の外部性(外部経済)という。

19世紀後半、産業の中心が軽工業から重化学工業へと転換し、大型設備が使われるようになると、大量生産によって製品単価をひき下げるのが可能になった(規模の経済性)。この競争力を背景に、少数の大企業が市場を支配する寡占・独占の傾向があらわれた。寡占市場では、カルテルのような違法行為をおこなわなくても、優位にある企業がプライスリーダー(価格先導者)になり、その価格に他社も従うことによって、価格競争を回避する傾向が出てくる。その結果、広告・宣伝や、付属サービスの違いなどに競争の主力をおく非価格競争が強化された。もっとも近年では、積極的な技術革新(イノベーション)によって、寡占市場でも、品質・価格ともにはげしい競争が展開されることが多い。

競争と技術革新……市場は価格競争を通じて、長期的には製品の利益幅を小さくする。そのため、企業が利益の拡大をはかるためには、積極的に技術革新をおこなって生産性を高めたり、新製品を開発したり、あるいは経営管理やマーケティング(販売促進)方法の刷新などにつとめなくてはならない。オーストラリア出身の経済学者シュンペーターは、競争が経済に次々と革新をもたらすことを、経済発展の原動力と考え、この点から資本主義経済を高く評価した。

● 市場の限界

市場の効率性は、競争を通じて発揮されるが、競争にやぶれた企業は倒産などに追いこまれ、そこではたらいっていた労働者は所得を失う。その結果、所得の不平等が拡大するおそれがある。効率性の追求は、公平性をそこなう原因にもなりうるのである。また、所得の高低にかかわらず、教育や医療サービスを受ける権利は憲法で保障されているが、民間企業が、料金の支払いの困難な人に、サービスを提供し続けることはむずかしい。こうしたサービスは公共財として、政府が直接供給する必要がある。さらに、公害や環境破壊の多くは、生産過程で生じる排煙、排液などの廃棄物に原因があるが、廃棄物を取引する市場は一般に存在しない。そのため価格の上昇などを通じて排出量を抑制することもできない。したがって、このような市場が機能しないところで生じる問題に対しては、市場メカニズムによる解決を期待することはできない。

こうした市場の失敗といわれる問題に対しては、政府による政策がまず必要になるが、NPOやボランティア活動など市民どうしの協力も有効である。わたしたちは、市場の限界についても正しく理解し、市場経済の適切な利用方法を考えていく必要がある。

需要・供給曲線って何？

需要曲線の傾きは商品によってどうちがうのだろう？

供給曲線の位置が変化すると価格はどうなるのだろう？



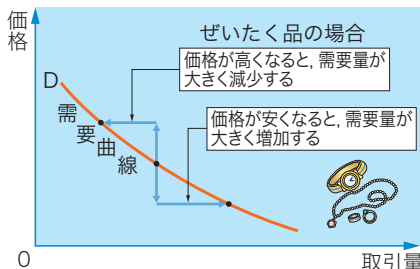
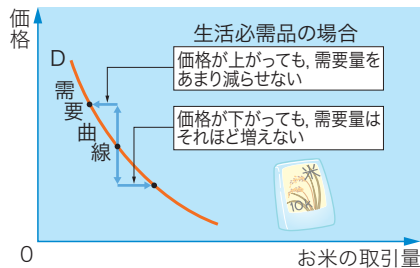
サキ ● 需要も供給も、ふだんあまり使わない言葉なので、覚えにくいですね。

先生 ● とりあえず、「需要」は買う側、「供給」は売る側として覚えておきましょう。ところで、需要曲線と供給曲線については、その傾きと位置に大事な意味があります。

サキ ● 「傾き」と「位置」ですか？

先生 ● 需要曲線は右下がりの傾きをしているけれど、右下がりといってもいろいろなケースがあります。たとえば、お米のような生活必需品の場合、価格が高くなってでもそれほど需要量は減らないし、反対に安くなってでも突然食べる量が増えるわけでもないでしょう。こういう場合、需要曲線の傾きは急になるの。これが、ぜいたく品のようにそれほど必要でない商品になると、逆に需要曲線の傾きはゆるやかになります。

同じ右下がりでも、商品の性質によって、傾き方に違いが出るのよ。



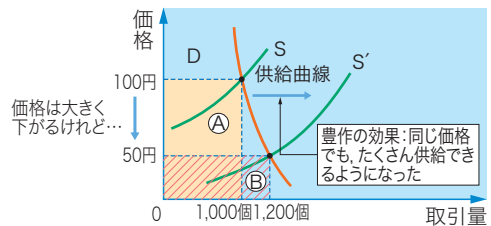
サキ ● なるほど。では、曲線の「位置」とは？

先生 ● 今度は、供給曲線で説明しましょう。た

たとえば、今年はミカンが豊作だったとしましょう。これは、どの価格であっても、供給することのできるミカンの量が増えることを意味するでしょう。したがって、その増えた分だけ、供給曲線全体が右に動くことになるのよ。

サキ ● そうなると、価格はどうなるのですか？

先生 ● いい質問ですね。供給曲線が右に動くとき、需要曲線との交点は右下のほうへ移動します。つまり、均衡価格は低下するの。野菜や果物が、収穫期に安くなるのはこのためです。ただ、豊作になりすぎると、供給曲線が大きく右に動いて、均衡価格も大きく下がることになります。農作物の場合、お米と同じように需要曲線の傾きは急なことが多いので、需要量はあまり増えず、価格×取引量、つまり売上額がかえって減ってしまうことがあります。豊作貧乏といわれる事態がこれなのよ。



取引量はあまり増えない

① 100円×1,000個=10万円 } 豊作の結果、売上額
② 50円×1,200個=6万円 } が減ってしまった

サキ ● 工業の場合はどうなりますか？

先生 ● 工業でも、技術革新などで生産性が上昇すると、同じ価格で供給できる商品の量が増えます。つまり、豊作のときと同様、供給曲線は右に動くの。その結果、売上額がどうなるかは、需要曲線の傾きによるね。

曲線の傾きと位置から、いろいろな価格の変化を説明できるのですね。



POINT

- ▶ 生活必需品の場合、需要曲線の傾きは急になり、ぜいたく品の場合は、ゆるやかになる。
- ▶ 供給曲線が右に動くとき均衡価格は低下する。